

2017にいがたワーク&ライフフォーラムin長岡

冒険から社会貢献へ

協働・協同・共同、社会とつながる 地域とつながる その一步

れんごう中越地協

第942号2017.9.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



このフォーラムは、2013年に初めて長岡市で開催され、県内各地をまわり再び長岡市での開催となった。主催した2017にいがたワーク&ライフフォーラムin長岡実行委員会は、長岡地区労働者福祉協議会(会長矢島良彦)やNPO法人市民協働ネットワーク長岡のほか、新潟県労働金庫、新潟県総合生協、連合新潟、新潟ろうきん福祉財団で構成し、3月から準備にあたってきた。

2017にいがたワーク&ライフフォーラムin長岡が、9月2日(土)午前10時からホテルニューオータニ長岡NCホールで開催され、労働者福祉運動に関する諸団体をはじめ、市内外のNPOや市民活動団体の会員や多くの市民が集い、盛大に開催された。

矢島実行委員長は主催挨拶で、「勤労者福祉活動に対して、地域課題に取り組みNPOや市民活動団体の方々と、底上げていきたい。労組の社会的責任の観点や地域社会で何



ができるのか追求するフォーラムとしたい」等を述べた。



早速、「にいがたワーク&ライフフォーラムが目指すもの」と題して、間新潟県労働者福祉協議会専務理事が、これまで取り組んできたフォーラムの経過や、今年から「福祉はひとつ」とする運動の実践を追求する育成

期に入ること等が紹介された。続いて「冒険から社会貢献へ」と題して、羽賀友信氏(長岡市国際交流センター)「地球広場」(センター長)と高橋なんぐ氏(NAMARAメンバー)に、小野沢裕子氏(フリーアナウンサー)がコーディネーターを務める基調講演がスタートした。

先ず高橋なんぐ氏が、約3年間海外で生活した体験等が映像とともに紹介された。次に、羽賀友信氏が、シルクロードやオーストラリアなどの写真を紹介しながら解説。難民

午後5時半からは、ホテルニューオータニ白鳥の間に再び集い、交流会が盛大に行われた。

江花新潟県労働金庫理事長が開会挨拶、磯田長岡市長の祝辞、羽賀友信NPO法人市民協働ネットワーク長岡代表理事の乾杯で楽し

活動した時の切ない話。パプアニューギニアやブータンなどの話も説得力ある講演だった。また、小野沢氏の巧みな引き出しで、参加した383名が集中して聴き入る、有意義な基調講演となった。

夏も終わりに近づき、過ごしやすい季節となりました。これから迎える秋は、食欲の秋や読書の秋、そしてスポーツの秋であります。▼私たちの労働組合では、夏季安全運動の一環と普段の運動不足の解消、そして増健を意識付ける意味で、この時期にソフトボール大会を実施しております。しかし、ここで一番心配なことは怪我であります。準備運動は行うものの、日頃の運動不足とプレーに夢中になることで怪我をしてしまうケースがあります。▼私も身もバドミントンで、アキ

午後5時半からは、ホテルニューオータニ白鳥の間に再び集い、交流会が盛大に行われた。

この会では、13セッションの代表から、セッション内容の模様などが報告され、



交流会の最後は、小野塚新潟県総合生協理事長による三本締めで閉会した。

今年から1日限りのフォーラムに変わったが、本フォーラムで求めた「協働・協同・共同、社会とつながる」地域とつながる「その一步」に踏み出せた有意義なフォーラムであった。参加された各団体とこれからつながりを持ち、ネットワークをさらに広げ、お互いの力合わせと活動や運動の相乗効果で、持続可能な地域社会づくりに向かいたい。「福祉はひとつ」

今年から1日限りのフォーラムに変わったが、本フォーラムで求めた「協働・協同・共同、社会とつながる」地域とつながる「その一步」に踏み出せた有意義なフォーラムであった。参加された各団体とこれからつながりを持ち、ネットワークをさらに広げ、お互いの力合わせと活動や運動の相乗効果で、持続可能な地域社会づくりに向かいたい。「福祉はひとつ」

交流会の最後は、小野塚新潟県総合生協理事長による三本締めで閉会した。

交流会の最後は、小野塚新潟県総合生協理事長による三本締めで閉会した。

サラリーマン川柳(カレンダー) 思い出せない(二重丸) (不規則後) 規則正しく(飲む薬) (悪いとこ) 全部俺似と(なげく妻) (あれをやれ これもやっつけ) おまえやれ)

サラリーマン川柳 (同窓会 シワシミうす毛 厚化粧) (スポーツジム 口も鍛えて 妻帰る) (よく飲むね そういってお前は よく食べる) (朝歩き 疲れ昼寝で 寝れぬ夜)

フードバンクにいがた 県下一斉フードドライブ フードドライブ期間 10/1 (日) ~ 10/10 (月)

「もったいない!」から 「ありがとう」

~フードドライブとは~

家庭で余っている食品をお持ちより、食品の確保が困難な
方々を支援するための活動です。寄贈された食品は無償で生
活に困っている方・施設に無料で寄付します。

保存可能な食品(お米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、
調味料、お菓子等)寄贈して戴ければ大変ありがたいです。

新潟県社会福祉協議会では生活困窮者自立支援事業に
基づきフードバンクにいがたと連携し支援活動をしています。

県下 各所で開催いたします。



お問い合わせ先
〒950-0965
新潟市中央区新光町6番地2 新潟福祉会館4階
フードバンクにいがた 事務局 真木
電話: 025-384-4466、FAX025-384-8224
e-mail: fb@roukyou.gr.jp

お願い お米1合、ラーメン1袋
缶詰1缶が命を繋ぎます

「2017ワークライフセミナー in 長岡」来場者様 新潟県労働者福祉協議会様 長岡地区労働者福祉協議会様

御礼

2017年9月2日開催の「2017ワークライフセミ
ナーin 長岡」講演会時に、フードバンクにいがた長岡
センター主催のフードドライブに多大なご協力とご寄
附を頂戴いたしまして御礼申し上げます。

皆様からご寄附頂きました食品の総重量は、下記の
通りでございました。

後日、フードバンクにいがた長岡センターより長岡
市内の社会福祉施設、生活困窮者支援団体等に寄付を
させて頂きます有難うございました。

ご寄附総重量 4.666kg

感謝

2017年9月フードバンクにいがた
長岡センター山崎 一雄

長岡マンドリンアンサンブル演奏会 2017

〈演奏曲〉

カヴァレリア ルスティカーナ 間奏曲
太陽がいっぱい
影を慕いて
川の流れるように
カチューシャ

組曲「アイヌの印象」(合唱付)
ほか

〈ゲスト〉

男声合唱: 長岡メンルコール
フルート: 村山佳代子
指揮: 鈴木 昇

美しき マンドリンの 世界



2017年 10月15日 日
開場 13:30 開演 14:00

長岡リリックホール
Nagaoka Lyric Hall (コンサートホール)
入場料: 前売り 500円 / 当日 700円
全席自由 ※未就学児の入場はご遠慮ください

主催: 長岡マンドリンアンサンブル (NME)
後援: 長岡市 / 長岡市教育委員会 / 長岡観光コンベンション協会 / 新潟日報社 / 株式会社エヌ・シィ・ティ
長岡工業高等学校同窓会
チケットのお求め先: 長岡リリックホール / 長岡観光コンベンション協会 / ながおか市民協働センター (アオーレ長岡 西棟 3階)
長工会館 / 文信堂書店長岡店 (CoCoLo 長岡内) / わたしん楽器 (長岡市) / ナカザワ楽器 (三条市)
お問い合わせ先: 0258-62-5268 (一柳) / 0258-33-3188 (長工会館) 請求: 原 真知子 / 写真: 中島隆雄

2017年 全ての県民が 生活困窮から脱却するための シンポジウム

格差社会の中で、生活困窮・生き辛さを強いられながら暮ら
している人々がいます。

この社会問題は、官・民の支援機関・団体、専門家やNPO
団体等が連携して支援にあたるのが重要です。事例報告・支
援体験から『連携の共有化』を図り、相談者・ご家族目線で、
各機関・団体の事業効果を高めるためのシンポジウムです。

日時 10月21日(土) 13時15分開場
13時30分開会~16時30分終了

内容 基調講演
一般社団法人社会的包摂サポートセンター 遠藤智子事務局長

パネルディスカッション

会場 長岡市地域交流センター
まちなかキャンパス長岡 301会議室

長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト(TEL0258-39-3300)
JR長岡駅より徒歩4分

参加費 無料

※事前申し込み必要:裏面の申込用紙を利用または下記事務局にお申し込み下さい。

主催 一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

《同協議会の主な県民生活者支援事業》
自主事業:新潟県ライフサポートセンター
受託事業:生活困窮者自立支援事業(新潟県パーソナルサポートセンター、新潟市パーソナルサ
ポートセンター、長岡パーソナルサポートセンター、上越市パーソナルサポートセン
ター)、よりそいホットライン北越地域センター等

後援団体 (8月22日現在:依頼予定機関・団体)

新潟県、新潟市、長岡市、上越市、(一社)社会的包摂サポートセンター、連合新潟、新潟県労働金
庫、新潟県総合生活協同組合、新潟ろうきん福祉財団、NPO法人女のスペース・にいがた、NPO法人
女のスペース・ながおか、NPO法人長岡医療と福祉の里ポランディア連合会、NPO法人新潟マッ
ク、NPO法人地域循環ネットワーク、NPO法人新潟NPO協会、ワーカーズクラブ、新潟県弁護士
会、新潟県社会福祉士会、新潟県司法書士会、新潟県社会保険労務士会、新潟日報社、FMながおか、他

事務局(一社)新潟県労働協 (tel025-281-0890、fax025-281-0891)